

Koyomi

2026 | 令和8年

vol.56 3/20 発行

CONTENTS

Smile Pick Up!	1
Koyomiは紙からWebへ	2・3
施設長リレーコラム	4

介護は、
楽しい。

Smile Pick Up!

かみむら まり
上村 万里 さん

所属 / 不老閣デイサービスセンター
職種 / 介護職員
経歴 / 南魚沼市生まれ
他業界の経験を経て
不老閣デイサービスセンターに入職
趣味 / おいしい物を食べること。
最近は、地元食材を使った
ピザ屋がお気に入りです。

●就職のきっかけ

祖母と話すことが好きだったので、子供の時から介護の仕事に興味がありました。東京で働いていましたが、地元に戻って働く中で、手に職をつけたいと思い、改めて、介護をやりたい気持ちが強くなりました。たくさんある施設の中から不老閣を選んだのは、「ご自宅にいるようにお過ごしください」という基本理念に共感したからです。また、施設見学の時、職員皆さんが楽しそうに働く姿が印象的で、自分と同世代の職員も多く、未経験でスタートし、資格を取得した先輩もいると聞き、私でも働けるのではないかと考え入職しました。

●やりがい

ちょっとした「難しい」をサポートした時「ありがとう」と言われることにやりがいを感じます。例えば、手が思うように動かない利用者様にとっては、ボタンかけひとつでもむずかしい動作になります。初めは自立支援のため見守っていましたが、ある時、利用者様が大きなため息をついており、お手伝いに伺うと「はあ、助かった。ありがと」と心から伝えてくださいました。本当に困っていた時の「ありがとう」は、心に深く響き、役に立てたと感じてとてもうれしくなりました。

●今後について

働き始めの頃は、未経験の私に先輩方が丁寧に教えてくれたおかげで、介護の楽しさを学びました。丸3年が経った今でも、まだまだ難しいことがあり、対応に迷うことも多いですが、分からないことをすぐに相談できる職場環境があることに感謝しています。

利用者様の笑顔が見たいので、自分も笑顔を大切に接していきたいと思っています。

そして、来年度は介護福祉士の資格取得に挑戦したいと考えています。これからもたくさんの知識や経験を重ね、自信を持って意見をしっかりと伝えることができるようになりたいです。

Koyomi は紙からWebへ

本会広報誌は、「にいがた老施協」から「にいがたろうしきょうNEWS」へと形を変え、令和2年7月に、より多くの方に本会の活動を身近に感じてほしいという願いを込めて「Koyomi」へとリニューアルしました。この間、メディア環境はとりわけ大きく変化し、SNSやウェブサイト等を活用した情報発信が主流となり、こうした時代の流れに合わせ本誌は今号をもって紙媒体での発行を終了することといたしました。これまで発行にあたりご協力いただいた皆様、そしてご愛顧いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。今後は本会ホームページを通じてより一層充実した情報を発信してまいりますので、これからもよろしくお願いたします。

懐かしい表紙たち



Smile Pick Up! アーカイブ



Smile Pick Up!

施設で働くフレッシュな職員の方にスポットを当て、介護の道に進んだきっかけや仕事で大切にしていること、今後の目標など、お一人おひとりからお話を伺い、その大切な想いを文字にしてみました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



Webでこう変わる!

Web版へと移行した後も、これまでの内容はそのままに、紙面ではスペースの都合で載せきれなかった職員の方の仕事への思いを、今後はブログ形式でたっぷり掲載いたします。(過去の記事は引き続きホームページでご覧いただけます)

施設長リレーコラム

Koyomiにリニューアルする前の平成17年から始まった連載です。当時まだ少数だった介護施設の女性施設長の声を届けるべくスタートしました。時代とともにコラムの内容はそれぞれの施設の特徴や取り組みを紹介する形に変化してきましたが、その文章からは、ご利用者様や現場の職員を大切に温かな気持ちが伝わってきました。



Webでこう変わる!

施設長リレーコラムは、今後は「会員紹介」として新たにスタートします。施設の自慢や特色あるサービスなどを広範囲に掲載し、会員皆様の魅力をお伝えしてまいります。

施設長リレーコラム アーカイブ



ページを彩った誌面ギャラリー

NEWS

本会研修会の様子や参加者の声を紹介しました。参加者皆さんのスキルアップの記録です。



部会発信

各部会が地域の自慢や特色を紹介しました。地域を大切に想う気持ちが伝わる企画でした。



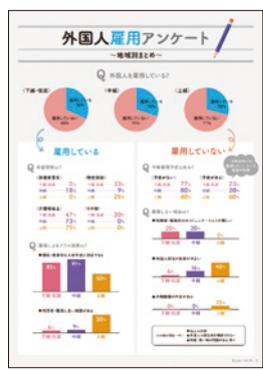
聞かせてシリーズ

「夏といえば」など肩の力が抜けるようなテーマでアンケートを実施しました。



調査報告関連

各種加算の調査など会員皆様の現場の現状をアンケートで集計し、その結果を誌面でフィードバックしました。



Webでこう変わる!

これまで誌面で掲載してきた内容は、Webの特性を活かしより迅速な発信を目指します。掲載方法や掲載頻度等現在検討中ではございますが、アンケート結果のフィードバック等これからも会員皆様の声を形にし、現場で役立つ情報や元気になるトピックスを発信してまいります。

広報誌のWeb移行に伴い、現在、より見やすく利用しやすいホームページを目指して、リニューアルを進めています。公開の準備が整い次第改めてご案内いたしますので、どうぞお楽しみに★



最新情報は
本会ホームページを
ご確認ください

施設長 リレーコラム

連載 | vol.56

暮らしを
ゆっくり、いっしょに、
暮らしていく



グループホーム加治川の里
管理者
かりや ともか
刈谷 友香さん



中庭に畑も
あります

グループホーム加治川の里

事業所所在地 ● 新発田市向中条2843-1
運営事業者 ● 株式会社加治川の里
事業所の種類 ● 認知症対応型共同生活介護 / 18名
連絡先 ● TEL / 0254-21-3470
E-mail / ghkaji@kajikawanosato.jp

施設
概要

花苗植え

グループホーム加治川の里は、新潟県新発田市の自然豊かな環境に位置する、認知症対応型共同生活介護施設です。木造平屋建ての家庭的な住まいで、少人数の共同生活を基本とし、入居者一人ひとりが安心して、その人らしい暮らしを続けられるよう支援しています。

日々の生活では、食事の準備や掃除、洗濯などの家事を職員と一緒にいき、これまでの生活習慣や「できること」を大切にしています。また、周囲の自然を活かした散歩や外気浴を取り入れ、四季の移ろいを感じながら穏やかな時間を過ごせる環境を整えています。

加治川の里では、生活に楽しみと張り合いを持てるよう、季節ごとの行事やレクリエーションを積極的にを行っています。お正月やひな祭り、七夕、敬老会、クリスマス会などの季節行事をはじめ、誕生日会、手作りおやつ、歌や体操、創作活動など、笑顔あふれる時間を大切にしています。花見やドライブなどの外出行事も行き、日常に変化と楽しみを取り入れています。

また、地域とのつながりを大切にしていることも大きな特徴です。地域のクリーン作戦への参加や行事への協力などを通して、地域住民との交流を図り、入居者が地域の一員として暮らし続けられるよう努めています。

介護職員は24時間体制で常駐し、健康管理や生活支援を行うとともに、協力医療機関と連携しながら安心・安全な暮らしを支えています。グループホーム加治川の里は、人とのつながりや地域との関わりを大切にしながら、心豊かに暮らせる住まいです。



グループホーム
加治川の里



干し柿
づくり



地域のクリーン
作戦に参加
しています



クリスマス会



母の味は
最高です♡

